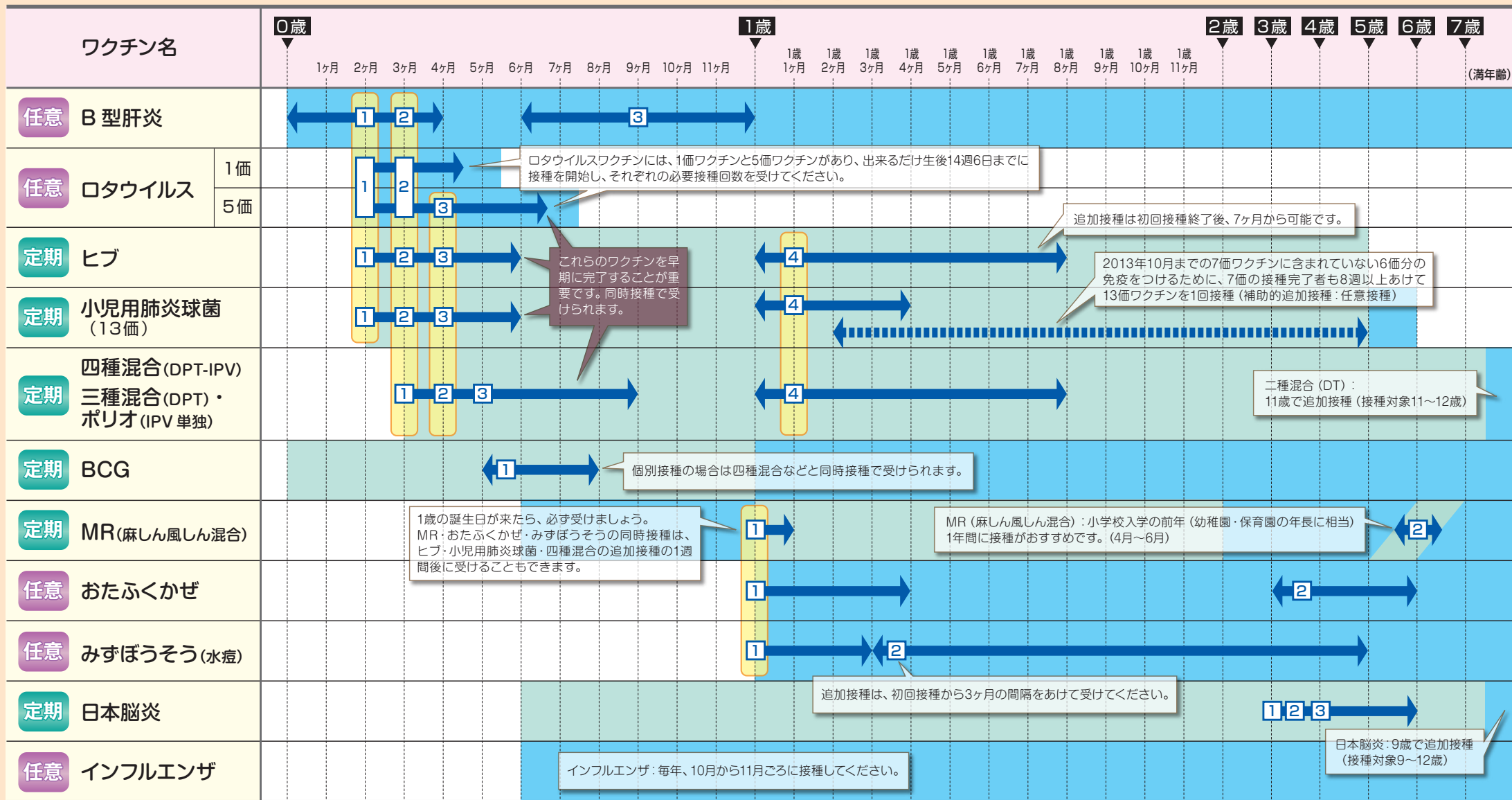


大切な子供をVPD（ワクチンで防げる病気）から守る為には、接種できる時期になったらできるだけ良いタイミングで、忘れずに予防接種を受ける事が重要です。このスケジュールは、もっとも早期に免疫を付ける為のご提案です。お子様の予防接種に関しては、地域ごとの接種方法やVPDの流行状況に応じて、かかりつけ医と相談してスケジュールを立ててください。



〈2014年2月版〉

予防接種スケジュール



ロタウイルスワクチンには、1価ワクチンと5価ワクチンがあり、出来るだけ生後14週6日までに接種を開始し、それぞれの必要接種回数を受けてください。

これらのワクチンを早期に完了することが重要です。同時接種で受けられます。

追加接種は初回接種終了後、7ヶ月から可能です。

2013年10月までの7価ワクチンに含まれていない6価分の免疫をつけるために、7価の接種完了者も8週以上あけて13価ワクチンを1回接種（補助的追加接種：任意接種）

二種混合(DT)：11歳で追加接種（接種対象11～12歳）

個別接種の場合は四種混合などと同時接種で受けられます。

1歳の誕生日が来たら、必ず受けましょう。MR・おたふくかぜ・みずぼうそうの同時接種は、ヒブ・小児用肺炎球菌・四種混合の追加接種の1週間後に受けることもできます。

MR(麻しん風しん混合)：小学校入学の前年(幼稚園・保育園の年長に相当)1年間に接種がおすすめです。(4月～6月)

追加接種は、初回接種から3ヶ月の間隔をあけて受けてください。

インフルエンザ：毎年、10月から11月ごろに接種してください。

日本脳炎：9歳で追加接種（接種対象9～12歳）

- 定期** 定められた期間内で受ける場合は原則として無料（公費負担）。
- 任意** 多くは有料（自己負担）。ワクチンによっては公費助成があります。任意接種ワクチンの必要性は、定期接種ワクチンと変わりません。
- 定期予防接種の対象年齢
- 任意接種のできる年齢
- おすすめ接種時期（数字は接種回数）
- 同時に複数のワクチンを接種することができ、安全性は単独でワクチンを接種した場合と同じです。詳しくは、かかりつけ医にご相談ください。

注) このスケジュールは、2014年2月時点での内容を反映させたものです。2014年4月以降は、予防接種の改定が予定されておりますので、最新の予防接種スケジュールはかかりつけ医にご相談下さい。